

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 5 月 8 日

事業所名 児童デイサービス 福の木

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	パーティションで仕切りをするなど工夫して過ごしている。	ワンフロアで定員に対して十分なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	8	1		人員基準を満たす配置ができています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0		段差はありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	1		スタッフで話し合う機会を多く設定している。今後も行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	評価表をふまえてスタッフで会議をし業務改善につなげられるようにしています。	アンケート結果をふまえて業務改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	2		ホームページで公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	9		行っておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	年間計画によって研修スケジュールを決め行っています。	外部より講師を招き、専門性のある研修の実施し、職員の資質向上に努めています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0		アセスメントを行いスタッフ会議をし、計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	独自の記録やスタッフ会議での資料を基に作成している。	標準化されたアセスメントツールがないため、独自のアセスメントツールを作成する必要がある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	スタッフで話し合い分担して行っている。	これからも幅広い支援が出来るように考えていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0		就労に向けたプログラムも増やしていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決めている。	特に休日・長期休暇時の課題を新たに増やしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0		組み合わせで計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	朝のミーティング時に利用児童についてや役割分担について確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	管理者への報告や気づきノートを活用し、ミーティングの中で共有している。	独自の気づきノートを作成し誰でも記入し話し合えるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	毎日記録を取り検証している。	日々の支援に関してだけでなく、長期・短期目標にも日頃から意識し、支援を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	定期的にモニタリングを行っている判断している。	6ヶ月に一度モニタリングを行い支援計画の見直しを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	0	組み合わせ、支援を行っている。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	2	お電話での聞き取りの際には児発管が対応しています。	参加を求められたことはございませんが、求められた際には児発管が対応いたします。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	学校お迎え時に担当の先生よりお話しを伺っている。	情報の共有を密にしたいと思うので、共有できる方法を模索していきます。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	5		該当する児童がいっぱいありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	4	通所児童が小学校高学年以上である為情報共有を求められたことはございません。	情報共有の必要性が出てきましたら情報共有致します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	3		卒業する方がいらっしゃる際には、情報提供させていただきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1	コロナ禍で受講をやめていました。	新入職の基礎研修、専門研修の必要性を感じていますので、受講を考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	9	機会を設けていません。	機会を模索していきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	1	参加している。日頃の取り組みやケース会議、意見交換などを行っている	引き続き参加し情報交換を行ってきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	0	連絡帳や送迎時、お電話でご様子をお伝えしたりお聞きしています。	モニタリング、お電話、送迎時において、保護者様には情報共有、理解を頂いている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4	ペアレント・トレーニングは実施しておりません。	保護者支援の重要性を感じますので、相談などお気軽にご連絡頂ければと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時、丁寧な説明を心がけています。	後日でもご質問ご意見等ございましたらお知らせ頂ければ対応させていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0		話しやすい雰囲気をお心がけています。個別支援計画書に家族支援として記載し定期的に評価しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	7	父母の会はございません。保護者会等は、開催出来ておりません。	保護者様に外部研修を利用していただき、保護者交流の場として提供させていただいています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	苦情・相談窓口を設置しています。	引き続き迅速な対応をお心がけます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	ブログでの発信、月間活動予定を配布しています。	子ども新聞を発行し、日常の様子を発信しています。発行の回数を増やしたいと思っています。
	35	個人情報に十分注意している	9	0	鍵付き書庫に保管しています。	今後も十分注意して取り扱います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	個々に応じた意思疎通の方法で対応している。	重要事項説明書・契約書は、拡大版・ルビを振ったものを使用し、説明させていただいており、具体的なものを使って、意思疎通に努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	2	7		安全面を考慮し、事業所への招待は行っていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	各種マニュアルを策定しています。	保護者の方へマニュアルの周知に取り組みます。個別支援計画書作成の面談時を利用してご覧いただけます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	職員に対して避難訓練を実施し、児童に対して月に一回訓練を実施、机上での学習を行っている。	災害時に落ち着いて行動できるよう訓練を重ねてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	年間計画によって研修スケジュールを決め実施している。	職員同士で気兼ねなく話せる環境を作りたく努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	現在対象となる児童がいっぱいありません。	身体拘束の必要性があった場合には、個別支援計画書への記載、拘束の記録、保護者様との同意書を残すようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	2	アレルギーの有無を確認していますが、現在対象となる児童はいっぱいありません。	食物アレルギーがあり、医師の指示書のある方がいらっしゃいましたら、その様に対応いたします。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	ヒヤリハット事例集を作成しています。年当初めには振り返りを行っています。	気づきノートの活用をするなど適切な対応、安全に気を付けています。